



人と「向き合う」ことを大切にされているので、社内の風通しも良く、仲の良い社員の皆さん。



お客様の用途に合わせた  
いろいろなスクリーン製品

# あらゆる分野で活躍できる スクリーンを作り続けます

スクリーンって  
なんですか？



スクリーンと聞くと、一般の人は映画のスクリーンを思い浮かべるかもしれませんが、「混合物を除く(分離)・大きさによって分ける(分級)」などを行うための部品・装置をスクリーンといいます。例えば、水流を使って昆布の佃煮から糸くずや髪の毛などを除いたり、トンネルの掘削時に出る土砂を分級するための「フィルター」と思ってもらえばわかりやすいでしょうか。

主要なスクリーン製品には  
どのような物が  
ありますか？



当社の主要製品のひとつに、ウェッジタイプスクリーンがあります。断面が逆三角形のワイヤーを等間隔に並べて製造しており、目詰まりが少なく、強度・耐久性にも優れているのが特長です。

この製品以外にもいろいろな形状・用途の製品があり、さまざまな産業分野で使われているんですよ。



なぜ、業界でもいち早く  
ISO14001を取得  
されたのですか？



業務の改善を進めるのに、PDCAサイクル(ISO14001の基本構造)で計画から見直しまでを繰り返して、業務の継続的な改善を行うことが有効だったんです。現在は職人の経験に加え、大学等と連携して製品の効率性や精度をより詳しく数値化し、お客様にわかりやすく示しています。

お客様を大切にされて  
いるんですね。



当社が60年近く続けているのも、お客様と真摯に向き合い、良い関係を築いてきたからだと思っています。要望をお聞きすることはもちろんですが、それだけでなく、新しい提案を行って、お客様と一緒に良いオリジナルの製品を作っているんです。全社員がこういった姿勢で仕事に取り組んでいます。

採用について  
教えてください。



今年度の定期採用は終了してしまいましたが、飛び込みで自分を売り込んでくれるような人は大歓迎です。また、当社は文系や普通科の高校を卒業

した人でも、やる気があれば設計や製造などいろいろな業務に挑戦できる、とてもやりがいのある会社です。明るく、気力のある方をお待ちしています。

今後の展望を  
教えてください。



スクリーンの目をさらに細かくするなど、今以上に技術力を高めたいですね。そうすることで、さらなる提案が可能となり、海外における水問題や新しいエネルギーの分野などで、より広く社会貢献ができればと考えています。

## 東洋スクリーン工業株式会社



「常に自己研鑽し、創意工夫していくことが大切」と語る  
ひろしまたけお  
代表取締役社長 廣濱 武雄さん

分離・分級・濃縮・脱水や環境保全に関する部品および機器・装置等の企画・製造・販売を行うメーカー。数マイクロメートルという目開きでスクリーンを作る高い技術力が認められ、近畿経済産業局が「KANSAIモノ作り元気企業」に選定。海外の展示会にも積極的に出展するなど、さらなる事業分野の拡大を目指す。

所 斑鳩町幸前2-10-6  
TEL 0745-70-1711  
FAX 0745-70-1712  
URL www.toyoscreen.co.jp/